設楽町第2期総合戦略令和6年度の実績に基づく検証結果

総合戦略	1	T				T
基本目標	評価指標	目標値(R8年度)	実績値(R6年度)	R6評価	結果に対する現状、原因、改善について	担当課
①設楽町で継続した暮ら	小規模多機能自治組織の形成	1地区	0地区	D 目標を下回る (50%未満)	持続可能なまちづくりを目指した住民主体の地域活動が 芽生え始めています。こうした取組が、地域経営の視野 をもち、小規模多機能自治組織に繋がるよう伴奏支援し ていきます。	企画ダム対策課
しを実現する	基幹バス路線の維持	4路線	4路線	A 目標どおり(100%~)	4路線の運行を維持	生活課
	町内公共交通の利用者の維持	前年度を下回らない	11.3回/年	A 目標どおり(100%~)	田口新城線の利用者が増加したことにより、数値が改善された。	生活課
	新規就農者数	3人/年	0人/年	D 目標を下回る (50%未満)	令和7年度に受け入れが始まる新規就農者3名の対応を 行ってきた。	産業課
②設楽町で働きたい方の	新規林業従事者数	1人/年	2人/年	A 目標どおり(100%~)	森林組合が事業継続・技術継承のため、新規雇用を行っている。	産業課
希望を実現する	新規起業者数	3人/年	1人/年	D 目標を下回る(50%未満)	相談はあるものの創業までに至らないケースがある。借家などの条件が合わないなど地域的マイナス要素もある。今後さらに町外に補助金の存在をアピールし町内での創業に繋げる。	産業課
③設楽町で暮らしたい方	移住施策のPR	25,000アウセス/年	84,492アクセス/年	A 目標どおり(100%~)	空家に関する需要や関心が高い。引き続き空家バンクの 情報発信とともに、移住定住施策や地域の魅力に関する 情報を発信していく。	企画ダム対策課
の希望を実現する	住まいの確保(分譲地)	5区画/年	0区画/年	D 目標を下回る(50%未満)	宅地分譲地の造成のみでは効果が薄いため、移住定住施 策として複合的な事業実施に向け検討が必要	企画ダム対策課
	空家バンク契約成立件数	5件/年	7件/年	A 目標どおり(100%~)	登録物件を増やし、契約成立に繋げていく。	企画ダム対策課
	出会いイベントカップル成立件数	3件/年	1件/年	D 目標を下回る (50%未満)	JA愛知東結婚相談所による事業で実績があったが、ほかには、出会いイベントがないため成立がないが、イベント醸成に向け関係団体に働きかけていく。	産業課
④設楽町で子育ての希望	合計特殊出生率	100%	0.5/人	D 目標を下回る (50%未満)	2023年の愛知県の合計特殊出生率は1.29 (全国1.20) である。昨年は1.35 (全国1.26) で、全国的に見ても減少傾向にある。	したら保健福祉センター
を実現する	待機児童数	0件/年	件/年	A 目標どおり(100%~)	各園の認可人員及び職員配置基準内で園児数が推移している	町民課
	海外派遣で英語力の向上に自信を持てた中学生の割合	70%	%	一 測定・評価不能	海外派遣事業未実施(R7より実施予定)	教育委員会
	県立田口高等学校の生徒数の維持	120名	61名	C 目標をやや下回る (50%以上~80%未満)	町も構成員として参画している学校運営協議会の中で地域と共に学校の魅力化を図り、生徒数の維持に務める	企画ダム対策課
	町外への販売商品の拡大	25件/年	63件/年	A 目標どおり(100%~)	ふるさと納税を活用し町外への販路を拡大した。今後さらに返礼品の種類を増やしていくよう事業者と協議をして商品開発と実施する。	産業課
	奥三河ふるさとガイドの活用(請負件数)	200件/年	143件/年	C 目標をやや下回る(50%以上~80%未満)	原生林ガイドや巨木展のガイドなど少ない人数で対応していることから、新たなガイドの育成も進めるほか、観 光協会が旅行業として「巨木」を巡る旅を企画、さらに	産業課
⑤設楽町に訪れた方の満 足を実現する	設楽町観光協会の収益向上	12,000千円/年	12,200千円/年	A 目標どおり(100%~)	観光協会が法人化されたことで事業の幅が広がったが、 今後は旅行業を活用したツアーの販売に注力していく。	産業課

設楽町観光協会HPへのアクセス数	450,000アクセス/年	349,435アウセス/年	C 目標をやや下回る (50%以上~80%未満)	昨今はHPだけではなく、インスタ、X、フェイスブックなどで広く周知しておりアクセス数やフォロアー数を伸ばしている。引き続き広く周知していく。	
イベント及びツアーの売上向上	12,000千円/年	900千円/年	D 目標を下回る(50%未満)	法人化され間もないためイベントやツアーでの売り上げが少ない。旅行業を大いに活用し今までにない観光事業を展開していく。	

- ◆凡例(評価の区分:%は進捗率)
- A 目標どおり(100%~)
- B 概ね目標どおり (80%以上~100%未満)
- C 目標をやや下回る(50%以上~80%未満)
- D 目標を下回る(50%未満)
- ー 測定・評価不能

Α	目標どおり (100%~)	8
В	概ね目標どおり(80%以上~100%未満)	0
С	目標をやや下回る(50%以上~80%未満)	3
D	目標を下回る(50%未満)	7
_	測定・評価不能	1

19

令和6年度 総合戦略の自己評価	項目数	A 目標どおり (100%~)	B 概ね目標ど おり(80%以上 ~100%未満)	C 目標をやや 下回る(50%以 上~80%未 満)	D 目標を下回 る(50%未満)	一 測定·評価 不能
①設楽町で継続した暮らしを実現する	3	2	0	0	1	0
一般未可で極続した春のして美玩する	3	66.67%	0.00%	0.00%	33.33%	0.00%
②設楽町で働きたい方の希望を実現する	3	1	0	0	2	0
②放朱町で倒さたい力の布主を失抗する	3	33.33%	0.00%	0.00%	66.67%	0.00%
③設楽町で暮らしたい方の希望を実現する	3	2	0	0	1	0
②放米町で春らしたい力の布室を失続する		66.67%	0.00%	0.00%	33.33%	0.00%
④設楽町で子育ての希望を実現する	5	1	0	1	2	1
受政未明です自己の布室を失死する	3	20.00%	0.00%	20.00%	40.00%	20.00%
⑤設楽町に訪れた方の満足を実現する	5	2	0	2	1	0
②政朱明15別4072別の洞足を失抗する		40.00%	0.00%	40.00%	20.00%	0.00%
	19	8	0	3	7	1
13		42.11%	0.00%	15.79%	36.84%	5.26%

アクションプラン

7 7 7 3 7 7 7 7										
基本目標	基本方向	施策	アクションプラン内容	重要業績評価指標(KPI)	H30	目標値(R8年度)	実績値 (R6)	R6評価	結果に対する現状、原因、改善について	担当課
①設楽町で継続した暮らしを実現	①持続可能な町づくりのための地 域の魅力化を図る	地域の将来像を定める	小規模多機能自治の立上げ支援 将来の地域計画策定支援	将来集落計画策定地区数	0地区	1地区	0地区	D 目標を下回る(50%未満)	各地域で住民主体の地域団体が活動し始めているため、個別相談や伴走支援を行い、将来集落計画の意義や必要性を 伝える必要がある。	企画ダム対策課
する	②持続可能な町づくりに向けた交	多様な手段で住民の足を確保する	公共交通網の維持 (バス路線) 福祉輸送事業の充実	住民一人当たり年間利用回数	9.2回/年	前年度数値を下回 らない	11.3回/年	A 目標どおり(100%~)	田口新城線の利用者が増加したことにより、数値が改善さ れた。	生活課
	通体系を整備する	2 W 0 11X (EDU) & C EDU) 0	公共交通空白地有償運送事業実施地区の拡大 自動運転技術等の新しい移動手段の確保	公共交通空白地有償運送実施地区数	2地区	3地区	3地区	A 目標どおり (100%~)	運行を維持している	生活課
	①農業用地等の効率的な利用によ	1.遊休農業施設(農地・農業施設・農業機械)の有効活用	遊休農業施設の実態調査の実施 遊休農業施設の情報の一元管理	遊休農業施設補助件数	-	1件/年	0件/年	― 測定・評価不能	営農条件の違いや土地所有者が不在のため、有効活用ができないのが現状。	産業課
②設楽町で働きたい方の希望を実	る雇用創出	2.「人」と「材」の循環の推進	遊休農業施設の再利用に対する補助 農業の担い手育成	転職イベント等での相談件数 (年間)	12件/年	12件/年	8件/年	C 目標をやや下回る (50%以上~80%未満)	2回の就農相談会並びに来庁等による相談件数。今後も県 事務所やJA愛知東と連携し対応。	産業課
⊗成米可で働きたい力の布量を失 現する	②豊富な森林資源の活用による雇 用創出	「人」と「材」の循環の推進	設楽町森づくり基本計画の実行 森林環境譲与税を活用した新たな補助金の検討 作業路網の拡充 転職イベントなどへの参加	転職イベント等での相談件数 (年間)	6件/年	6件/年	4件/年	C 目標をやや下回る(50%以上~80%未満)	名古屋市で開催された森林の仕事ガイダンスでの森林組合 ブースでの相談件数。うち1件が職場見学まで結びついてい る。今後も県事務所等と連携し対応。	産業課
	③ソーシャルビジネスによる雇用 創出	起業を目指したソーシャルビジネ スの支援	起業チャレンジ支援補助制度の見直し 地域におけるソーシャルビジネスの支援	起業チャレンジ支援事業補助金の利用件数(年間)	2件/年	3件/年	1件/年	D 目標を下回る (50%未満)	相談はあるものの創業までに至らないケースがある。借家 などの条件が合わないなど地域的マイナス要素もある。今	産業課
	①地域の魅力を外部に発信し、移 住希望者の心を掴む	移住・定住に向けた情報発信	タウンプロモーションの実施 移住ノートの更新 移住フェアの実施 地域組織と関係人口の創出 住民活動等への補助事業の見直し	移住施策のPR発信媒体件数	3媒体	3媒体以上	3媒体	A 目標どおり (100%~)	空家に関する需要や関心が高いため、引き続き空家に関する情報を発信していく。また、アウトドアまちづくり推進室のSNSも開設し、地域の魅力や設楽町のまちづくりについても発信していく。	企画ダム対策課
③設楽町で暮らしたい方の希望を 実現する	②移住希望者の居住環境の整備と 地域への溶け込みのきっかけづく り	移住・定住に向けた快適な住宅環境づくり	空家リフォーム補助の実施	空家・空地バンク登録件数のうち空地件数	0件/年	5件/年	2件/年	D 目標を下回る(50%未満)	空地の需要が少ないためか登録件数も少ない。しかし、固 定資産税の納付書に空家バンクのチラシを同封したため、 R7年度の空地の登録件数は増えた。	企画ダム対策課
			空家片付け補助の実施	空家・空地バンク登録件数のうち空家件数	10件/年	10件/年	24件/年	A 目標どおり(100%~)	登録促進のため、固定資産税の納付書に空家バンクのチラシを同封し、登録物件数を増やすことができた。	企画ダム対策課
			設楽町若者定住促進住宅補助の実施 分譲地事業の実施 転出者へのアンケートの実施							
	①出会い・交流の場の提供から始 まる若者の結婚支援	男女の出会いから結婚までの支援	出会いイベントの支援充実 出会いツアーの開催 町・町商工会・農協や他団体との協力体制の強化	出会いイベントの補助件数	1件/年	1件 (年間)	1件/年	A 目標どおり(100%~)	農協が実施する結婚相談事業への補助金を支出。今後は各 団体に広くイベント開催などの活動をして	産業課
	②子どもを安心して産むことができるサポート体制の充実	安心して妊娠・出産ができる環境 整備	子育て応援プランの提供 アンケートの実施 不妊治療費・特定不妊治療費の助成	子育て応援プランを提供し、指導・ケアを充分に受ける ことができた人の割合 (妊娠後期および3・4か月健診においてアンケート)	制度なし (R1)	100% (R6)	70%	C 目標をやや下回る (50%以上~80%未満)	安心して妊娠・出産ができるよう、面接や訪問、産後ケア や助成等の支援を継続して実施していく。	したら保健福祉センター
④設楽町で子育ての希望を実現す る	③子育て世帯に支持される子育て 環境の整備	保育園期の子育てを応援	リズムダンスなど、幼児期の体験の場の提供 早期・延長保育の実現に向けての検討 保育士人材パンクによる保育士の確保 人材育成への補助	保育士人材パンク登録者数	8人/年	8人(年間)	9人/年	A 目標どおり(100%~)	登録している人材はいるものの、すでに町内保育園等で会計年度任用職員として雇用されており、現状の人材不足の解消には至っていない。	町民課
		自信につながる学習支援	小中学校での英語教育の充実	外国語指導助手の設置数 (年間)	2名/年	2名(年間)	2名/年	A 目標どおり (100%~)	継続して、2名のALTを小中学校へ配置した。	教育委員会
	④将来を見据えた学習の支援		外国語指導助手を有効活用した教育の推進 イングリッシュキャンプの実施	放課後子ども教室実施数	0件/年	1件 (R6)	0件/年	一 測定・評価不能	未実施	教育委員会
	⑤県立田口高等学校を応援できる 体制を整える	県立田口高等学校の魅力化を図る	放課後子ども教室の開設 〇田口高等学校の魅力ある学校づくりへの支援 田口高等学校在学中の資格取得助成制度の実施 田口高等学校の英語学習支援制度の支援 田口高等学校の就職活動支援	資格取得支援補助を使った資格の取得数(年間)	15件/年	20件(年間)	2件/年	D 目標を下回る (50%未満)	R5年度までは田口高校の先生が取りまとめて申請をしていたが、R6年度から個人で申請になったため、申請に対してハードルが高くなってしまった。また、資格取得についてのPRができていなかった。	企画ダム対策課
	①物産でしたらの魅力と認知度を アップ	したらの物産にブライドを持つ	物産振興補助金 (仮称) の施行 設楽町観光協会を主体とした町内物産のPR 道の駅における地元産品の戦略的販売 道の駅したらの建設及び運営 道の駅アグリステーションなぐらの機能充実	商品の開発、販路拡大に対する補助金の交付決定数		創設後10件(R6)	3件/年	D 目標を下回る(50%未満)	商品開発事業への件数が令和6年度はなかった。販路拡大事業については3件あったが両事業とも商工会を通じてさらに周知する。	産業課
	②好奇心溢れる「また来たくなる」観光まちづくり	おもてなしの心が溢れるまち	奥三河ふるさとガイド活動等の充実と支援 心地良い施設の管理運営 きららの森ビジターセンター(仮称)の整備 設楽町奥三河郷土館の展示等の充実	東三河地域以外の旅行会社からのガイドの派遣申込数	15件/年	30件(R6)	15件/年	A 目標どおり (100%~)	東三河地域以外の申し込みは増えない状態。申し込みが全 国的に増えるようガイド育成と誘客に務める。	産業課
	③したらの観光をビジネスにする	観光はマーケティングがいのち	新たな観光物産イベントの確立 観光商品(ツアー、グッズ)の開発 設楽町観光協会のリニューアル 観光PRのブラッシュアップ	イベント補助金のうち観光 (産業課) イベントの交付決 定件数 (年間)	4件	5件(年間)	15件/年	A 目標どおり (100%~)	補助金は支出していないが、(一社)設楽町観光協会の計画し実施するツアーやイベントが多くなった。今後も引き続き計画し実行できるよう協力していく。	産業課

◆凡例 (評価の区分:%は進捗率) A 目標どおり (100%~)

B 概ね目標どおり (80%以上~100%未満)

C 目標をやや下回る (50%以上~80%未満) D 目標を下回る (50%未満)

- 測定・評価不能

A 目標どおり(100%~) B 概ね目標どおり(80%以上~100%未満) C 目標をやや下回る (50%以上~80%未満) D 目標を下回る (50%未満) - 測定・評価不能

令和6年度 アクションプランの自己評価	項目数	A 目標どおり (100%~)	B 概ね目標ど おり(80%以上 ~100%未満)	C 目標をやや 下回る(50%以 上~80%未 満)		一 測定·評価 不能
①設楽町で継続した暮らしを実現する	3	2	0	0	1	0
一般未可に極続した春のした天気する	3	66.67%	0.00%	0.00%	33.33%	0.00%
②設楽町で働きたい方の希望を実現する	4	0	0	2	1	1
② 改采明で倒さたい力の布室を失現する	4	0.00%	0.00%	50.00%	25.00%	25.00%
③設楽町で暮らしたい方の希望を実現する	3	2	0	0	1	0
② 設米町で春らしたい力の布宝を美現する		66.67%	0.00%	0.00%	33.33%	0.00%
④設楽町で子育ての希望を実現する	6	3	0	1	1	1
は、政条明で子自ての布室を美現する	0	50.00%	0.00%	16.67%	16.67%	16.67%
⑤設楽町に訪れた方の満足を実現する	3	2	0	0	1	0
③設条明に訪れた力の両定を実現する		66.67%	0.00%	0.00%	33.33%	0.00%
	19	9	0	3	5	2
		47.37%	0.00%	15.79%	26.32%	10.53%